

福岡すすめる会では、多くの生徒、父母も参加して3地区同時に街頭署名をおこないました。署名活動の大切さも世論を喚起する難しさも街へ出るとよくわかる、という実感が得られました。福岡では10万筆を目標にして、すでに5万筆近い集約状況です。

福岡県私学助成をすすめる会 NEWS

2023年度 第4号 令和5年11月3日 発行

福岡県私学助成をすすめる会 福岡市中央区渡辺通 5-23-2-310 号 TEL.092-791-4792 fax092-791-4793

10月28日(土) 4年ぶりに開催した実りある街頭署名

10月28日(土)北九州地区・筑後地区で街頭署名を行った。

北九州地区は小倉駅からセントシティを繋ぐペデストリアンデッキで14:30～スタートした。生徒も保護者もほとんどの方が初めての街頭署名だったためスタート当初戸惑っているように伺えたが、ここはやはり制服を身にまとった高校生が活躍してくれる。町中を足早に移動されている方々に声をかけ「私学の授業料を完全無償化となるように活動しています。署名にご協力いただけませんか」と丁寧に説明をおこない快く署名を頂いていました。県外から観光で見えられている方々の「県外だけ大丈夫？」という問いかけにも「構いませんのでよろしくお願いします」と笑顔で対応してくれました。高校生のイキイキとした署名活動。これからは私たちが授業料完全無償化に向けての運動をしなければならないという使命感さえ感じさせる積極的・自発的行動だった。保護者・教員も生徒と同様に粘り強く署名をお願いした。あっという間に予定していた時間となり、すがすがしい気持ちの中、街頭署名活動を終えた。署名活動を通して気付いたことは、私立の学費が完全無償化になっていると誤解されている方や、署名の意味すら分かっていない方が多かったことである。生徒・保護者・教員の感想は、この活動をしっかり理解して頂き、関心を持ってもらうことが大切だというものだった。私たちの活動は公立・私立、共に所得額に関係なく授業料完全無償化になることで、現受験生の進路選択を増やしてあげる事ではないだろうか。国政に授業料無償化を訴えていくこの「署名活動」を粘り強く続けることが大切だと痛感した1日であった。

久留米地区は西鉄久留米駅ロータリーにて、教員15名、私学助成すすめる会筑後支部古賀会長の参加のもと街頭署名を行った。約1時間の署名活動であったがなかなか署名が取れなかったのが現状であった。拡声器でアナウンスを行い・チラシを配り・丁寧に署名をお願いした。スタート直後、タクシー待ちの20代くらいの4人組の方に声をかけるが、早速「関係ありませんので、結構です」とあっさり拒絶されました。また、家族連れの方(中学生のお子さんが一緒でした)に声をかけ、説明のみ聞かれて「時間ありませんから」と冷たくあしらわれました。いつもより長く感じる1時間の中で、快く署名してくれたのが公立高校の生徒さんでした。また、署名に協力して頂いた方の中には「まだ、無償化じゃないの？」と言われる方もいらっしゃいました。いかにこの運動の知名度・認知度が低いかを考えさせられました。チラシを見せ細かく説明をさせて頂きました。熱心に聞いて頂き、「大変ですね。頑張ってください」と勇気づけられました。1時間で67筆の署名数となり、残念に感じることもありましたが、筆数を伸ばすにはどのような取り組みを行えば良いかを考え、来年に繋ぎたい。

